

原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2014年11月 | トップ | 2015年01月 》

検索

2014年12月18日(木)

検索

総選挙結果と『シロウオ』上映会・交流会

アーカイブ

12月14日衆議院議員総選挙は自民党の圧勝でした。待っていたかのように再稼働の動きが活発化してきました。

原発に反対して守ってきたもの

11月29日、和歌山市あいあいセンターにて催された昼夜2回の「シロウオ」上映会に参加しました。この映画は、和歌山県の「日高原発」とその対岸にある徳島県「蒲生田(がもうだ)原発」を取り上げ、双方の漁師が交流し合い影響を与えながら原発立地計画を住民の反対運動で阻止した経緯について、当時運動を担った人々を中心にして証言を集めたものです。

かつてこのブログでも(9月1日)、コンセプトを紹介しました。

2011年3月の福島原発事故の深刻な事態は依然として続き、閉塞的状況にあるといえます。福島の惨状から目をそらさず問い続けていかなければなりません。それとともに原発計画を断念させた反対住民にも目を向けること、そこから活路を探っていけるのではないかとというのが、この映画の企画意図といえるでしょう。

上映会とくに昼の部は、153の座席が埋まり補助いすが出るほどの入場者で、予想以上に盛況でした。映画もよかったが、上映後の交流会がたいへん充実していたと思います。

<昼の部>では、主演俳優?の浜一己さん自身が駆けつけてくださり、当事者としての視点から当時の闘いの貴重な話を聞くことができました。映画は万人に向けたものであるから撮影しても残せない部分が多々あったこと、闘いには表現し難い山場がいくつもあり、口では言えないようなとんでもない決着もある、と浜さんは言われましたが、結局そのうちの1つ2つはトークされました。

行政も漁協役員も賛成派が圧倒的という厳しい情勢のなかで「原発反対で頑張れたのはなぜですか?」というTさんからの質問には、「推進派の作戦を勉強し、どうすれば乗りきれぬかこちら側の作戦を練った」「外部の人たちの支援、とりわけ専門家の先生たちが夜遅くまで一緒に考えてくれた」と言われた。シミュレーション通りいかぬこともあったけれども、その時はその時、とも。

あらためて感じるの、浜さんたちの海に生き生かされる漁師としての誇りと、決して諦めないで立ち向かう強い意志、があったということです。

福島県富岡町から避難されている男性は、今福島で大義となっている「復興」の趨勢と足並みを揃えられぬ人への「非国民」呼ばわり、そこにみる住民間の深い断裂を危惧する気持ちを吐露されました。

住民同士の分断は、かつての日高でも同じこと。親戚筋の婚礼にも呼ばれない、道で出会っても顔を背ける、そんな関係が長らく続いたという。しかし海での漁師の事故が起きた時には、捜索活動に誰彼なしに駆けつけ、漁を休んで必死に捜索にあたったそうだ。「板子一枚下は地獄」と云う漁師仲間の共通の連帯感は失われていなかったのです。

2016年11月(2)
2016年10月(1)
2016年09月(1)
2016年08月(2)
2016年07月(4)
2016年06月(2)
2016年05月(1)
2016年04月(3)
2016年03月(2)
2016年02月(3)
2016年01月(2)
2015年12月(4)
2015年11月(2)
2015年10月(1)
2015年09月(3)
2015年08月(3)
2015年07月(2)
2015年06月(2)
2015年05月(2)
2015年04月(2)
2015年03月(2)
2015年02月(2)
2015年01月(5)
2014年12月(3)
2014年11月(2)
2014年10月(2)
2014年09月(2)
2014年08月(1)
2014年07月(2)
2014年06月(1)
2014年05月(3)
2014年04月(4)
2014年03月(1)
2014年02月(1)
2014年01月(3)
2013年12月(4)
2013年11月(1)
2013年10月(3)
2013年09月(5)
2013年08月(1)
2013年07月(3)
2013年06月(5)
2013年05月(3)
2013年04月(2)
2013年03月(6)
2013年02月(2)
2013年01月(3)
2012年12月(2)
2012年11月(1)
2012年10月(2)



交流会に参加された方々。前方椅子にかけているのは浜一己さん

〈夜の部〉は観客人数が昼に比べると少なく、交流会に残った人も数えるほど。でもこの中にドイツ人(日本国籍取得者)の方がおられ積極的に発言して下さい。なかでも最も印象深いというかショックだったのは、**原発の安全神話がまかり通るのは日本だけです**、という言葉でした。

ドイツはよく知られているように、福島第一原発事故を受けて直ちに、2020年までに完全に原発を停止することを決め、再生可能エネルギーの普及を急速に進めています。

このようにドイツが脱原発政策を速やかに推進できたのは、国民の間のチェルノブイリ原発事故の記憶が生々しいからだと聞いたことがあります。たしかにこの事故でドイツは放射能汚染の多大な被害をこうむったし、ヨーロッパは陸続き。…とはいえチェルノブイリは他国の話。そして20数年前のことなのです。

福島でもあれだけの大事故がありしかも継続中というのに、いまや川内、高浜と原発再稼働に前のめり、そして大間原発の新設、と続きます。安全神話復活の日本です。

この間、原発を推進してきた電力事業者も政府も誰も司法の責任を取らないままです。ドイツは第2次世界大戦でヒトラーを生みだした反省から、ナチスの戦争犯罪を徹底的に追及してきました。彼らからすると、あからさまな嘘やごまかしにやすやすと陥ってしまうニッポンは、不思議な国であり国民なのでしょう。

衆議院選挙で自民圧勝の結果をながめながら、苛立ち、そして思いました。福島の原発事故は終わってはいない。放射能で汚染された環境は元に戻せないし事故前の生活は取り返す事が出来ない。この福島の現実と選挙結果との乖離を直視したうえで、私たちが何ができるのか一生懸命考えていこう、と。

(sora)

2014-12-18 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

2014年12月11日(木)

12.14衆議院選の投票に行こう その2

今回の衆議院総選挙に和歌山小選挙区から立候補されている8名に対して、市民グループ「子どもの未来と被ばくを考える会」がアンケートしました。

(1)今後の原発政策の基本的考え方と(2)東電福島原発事故後子どもの甲状腺がんが増えていることに絡み今後の子ども・被災者の健康管理の必要性、の2点について択一式で回答を求めたものです。7日を回答期限として9日に結果が公表されました。

そこでこのブログでも拝借して、アップさせていただきます。

(以下アンケート内容)

2012年09月(2)
2012年08月(2)
2012年07月(4)
2012年06月(4)
2012年05月(3)
2012年04月(1)
2012年03月(1)

最新コメント

[日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)

そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)

コメントありがとう by sora(12/05)

突然すみません。東京 by 里美(11/22)

10/26と11/29のチケット by 角谷(10/23)

starさんコメントあり by sora(09/14)

このブログを読むまで by star(09/13)

こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)

現在稼働している大飯 by star(04/09)

廃炉産業を起こしてほ by kaziarayosiyuki(03/14)

カレンダー

< 2014年12月 >

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

最新記事

琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13

琵琶湖集会(11/15)

汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)

原発がこわい女たちの会ニュース99号発行(10/12)

高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)

老朽原発・美浜3号機は廃炉に！ パブコメを出そう(08/28)

ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)

熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)

老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)

原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

原発がこわい女たちの会
 ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ
 RSS

ID:

PASS:

サイト管理者 ▼

ログイン

SSLモードでログイン

BLOGariは2017年1月末
 サービス終了します

お名前()

別紙アンケート 該当するものに○をつけて下さい

(1) 福島原発事故後、今年4月に政府は『エネルギー基本計画2014』を出しましたが、電源構成の具体的な姿が描かれていません。しかし原発を「重要なベースロード電源」と位置づけています。今後の原発政策についてどのようにお考えですか。

イ、原発は一年以上、全て止まっている今こそ再稼働せずに原発を全廃する
 ロ、40年を経た原発から廃炉にして、いずれは全廃する
 ハ、可能な限り低減させるが原発は保持する
 ニ、安全性を向上させ、原発は減らす必要はない
 ホ、その他 ()

(2) 今年8月福島県の県民健康調査検討委員会で、子どもの甲状腺検査結果は甲状腺がんで手術した子ども57人、疑いが46人と報告されました。子ども被災者支援法13条は（放射線による健康への影響に関する調査、医療の提供等）となっております。今後、特に子どもたちの放射線による健康への影響に関する調査、甲状腺がん以外の疾患についても、定期的な調査、医療の無料化などの医療健康管理実施の具体的な法制化が必要ではないかと思われませんが、このことについてどのようにお考えでしょうか。

イ、甲状腺がん（疑いを含め）の子どもが増えているので、早急に必要である
 ロ、環境省専門家会議等で事故との因果関係は認められてないので、必要ではない
 ハ、その他 ()

(注) 子ども被災者支援法とは2012年6月27日議員立法で施行した法律です。正式には、「東京電力原子力事故により被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律」

以上

結果のみを抜粋すると、以下のとおりです。

立候補者8名中6名の回答がありました。
 表の記載はFAXによる回答到着順。但し、門 博文氏には事情により事務所受取りが遅延。

選挙区	氏名	政党	(1)原発政策	(2)健康管理
和歌山1区	岸本周平	民主前	その他	その他
	国重秀明	共産新	再稼働せず全廃	早急に必要
	門 博文	自民前	低減し保持	早急に必要
和歌山2区	富岡清彦	共産新	再稼働せず全廃	早急に必要
	坂口直人	維新前	再稼働せず全廃	早急に必要
	石田真敏	自民前	回答なし	回答なし
和歌山3区	原 矢寸久	共産新	再稼働せず全廃	早急に必要
	二階俊博	自民前	回答なし	回答なし

岸本周平氏の「その他」についての記述は、
 (1) ;東日本大震災以降の厳しい電力供給事情の中でエネルギー供給状態の不安定性や電力料金のさらなる上昇が想定。住民の同意と安全確認された原発の再稼働により、燃料費の負担増を回避。同時に再生可能エネルギーの導入の促進、エネルギー源の多様化を進め、2030年代末に原発ゼロを目指す。
 (2) ;子どもの心身のケアを長期的・継続的に行い、健康や将来に対する不安を払拭できるよう、子ども・被災者支援法に基づき、健康調査の強化などを進めます。こうした基本に立ってご提起の問題について検討していきたいと考えます。

(引用以上)

もちろん、原発は重要な政策課題ですから、新聞各社なども調査を実施しているでしょうし、公示後には紙上に報道もされています。立候補者の回答内容を見ればおおよそ分かることです。しかし、回答内容だけでなく、bigとはいえない市民グループの質問に対して候補者がどのような対応をされているのかも分かります。そう思って上記結果を見ると、なるほど、これは面白い。

(sora)

2014-12-11 | 記事へ | コメント(0)

2014年12月07日(日)

12.14衆議院選の投票に行こう

衆議院議員総選挙に向けて有権者の投票行動を探る電話アンケートが、5本の指に余るくらいにかかってきました。私はこの種の調査には、これまでだと殆ど取り合わないでやりすごしていました。「投票には行きますか」「投票する候補者は…」「支持する政党は…」、まるで思想調査ではないか。固定電話だから素性も調べつくし。いや、世論調査のふりして個人の政治思想をしらべているのかな？なんて。ともかく、「誰に投票しようと余計なお世話」だったので。

しかし今回の衆議院議員総選挙は、これからの日本を大きく左右する大切な選挙。争点が見えない選挙のようにマスコミを通じて誘導されているように思います。でも安倍政権のここ2年間の言動を思い起せば充分です。選挙公約ではない秘密保護法、集団的自衛権の閣議決定。そして福島原発事故が無かったかのように原発推進、などなど。
「安倍内閣にイエスか？ノーか？」「自民党にイエスか？ノーか？」を問うものであることは間違いありません。

「私はノーです！」と電話口で答えることが、もしかしたら巡り巡ってどこかで世論形成にちょっとでも資するならば、自分の意思は明確に示す方がよいのだと、まことに小さいながらも思い至ったのです。実感のまるでないアベノミクス、そんなものの大宣伝に眩惑されて白紙委任の投票などしてなるものか、です。

市民の意向がきちんと政治に反映されるには、議員にお任せの間接民主主義ではダメだし、現行の小選挙区制の選挙制度自体が問題なのは明らかです。だが、目前に迫った衆議院選、主権者としての投票する権利と義務を捨て去ることなく先ずは投票に行かなければ。

インターネット上で、**安倍政権NO!**の意思表示をする面白い提案アクションに出会いました。是非、クリックしてご覧ください。そして溜飲を下げるだけでもったいないので、誰かに教えてあげませんか。

★緑茶会(脱原発政治連盟)
<http://ryokuchakai.com/>

「落とそう！原発大好きイレブン」
甘利明、安倍晋三、高市早苗、石破茂、石原伸晃ら、おなじみの原発大好き立候補者のチラシです。PDFが公開されています。自由にダウンロードし印刷することができます。(選挙中是不特定な人々に印刷物を配るのは選挙違反になります。インターネットは自由です)

★「#とりあえず自民以外」キャンペーン事務局
<https://toriaezuno.wordpress.com/>

居酒屋で「とりあえずビールで」と注文するように、「#とりあえず自民以外で」とやる超ショートムービーをネット上であふれさせる緊急かつ楽しいプロジェクト！

★映画『日本と原発』
(監督:河合弘之弁護士 構成・監修:海渡雄一弁護士)
<http://youtu.be/saL2Fw-55Gc?a>

本番の映画は関西ではまだ自主上映にもなっておらず、ご紹介する機会は別途あるかと思いますが、これは12分にまとめられた**衆院選のための特別予告編**。原発問題について痛烈な政権批判となっています。この中で、河合弁護士が呟いています。「安倍さんは政治を甘くみている。国民を甘くみている。言い切っちゃえば勝ち、みたいな」「ものごとをよく考えも学びもせず、ああわかった、こう言えばいいんだろう、とばかりに言い切っている」(五輪招致の演説「福島の汚染水はアンダーコントロール」に、啞然とさせられたことを思い出しますねえ)

投票に行ったら原発を止めよう！

(sora)

